

ジャーナリスト として生きる

参加費無料
事前申込不要

学内・学外を問わず、
多くの方のご参加を
お待ちしております。

講師：堀川 恵子 氏 (フリージャーナリスト)

日時：2010年11月24日(水) 14:30～16:00

場所：総合科学部K203 (K棟2階)

■講演内容

広島大学総合科学部出身でジャーナリストとして活躍中の堀川恵子さんに講演していただきます。堀川さんは、多くのテレビドキュメンタリー制作に携わり、本も出版されています。粘り強い取材を通じて、ヒロシマ、戦争、死刑制度の問題に迫るその作品は高く評価されています。「ジャーナリストとして生きるとはということか」「学生時代になにを学ぶべきか」などについてお話してもらいます。

【略歴】

1969年 広島県生まれ
1992年 広島大学総合科学部(外国語コース)卒業
1992～2004年 広島テレビ放送(報道記者、ディレクター、報道部デスク)
2004～2006年 ドキュメンタリージャパン(専属ディレクター)
2006年 フリージャーナリスト(現在に至る)

【著書】

「チンチン電車と女学生」2005年 日本評論社
「日本の戦争BC級戦犯60年目の遺書」2007年 アスコム
「死刑の基準『永山裁判』が遺したもの」2009年 日本評論社

【受賞歴】

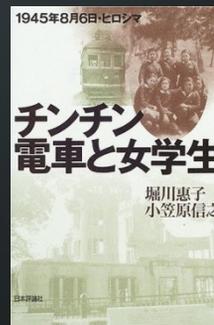
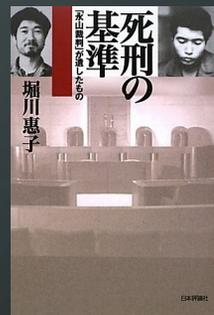
○主な制作作品

2003年 「ニッポンの筆 世界に挑む」(日本テレビ) ギャラクシー賞選奨、民間放送連盟賞優秀賞
2003年 「チンチン電車と女学生」(日本テレビ) 放送文化基金賞(ドキュメンタリー番組賞)、民間放送連盟賞最優秀賞
2004年 「千羽鶴はこうして集まった」(日本テレビ) 厚生労働省児童福祉文化財推薦
2006年 「ヒロシマ・戦禍の恋文～女優 森下彰子の被爆」(NHK) ATPテレビグランプリ優秀賞
2009年 「死刑囚・永山則夫～獄中28年間の対話～」(NHK)

第1回メディア・アンビシャス大賞(2009年)、ギャラクシー賞テレビドキュメンタリー大賞(2009年)、
放送人グランプリ2010(第9回)グランプリ(2010年)

○著書

2010年 「死刑の基準—『永山裁判』が遺したもの」日本評論社 第32回講談社ノンフィクション賞



堀川氏の著書